

平成29年度公民館「地域のつながりづくり」実証プログラム事業 企画プレゼンテーション大会 開催要領 (兼：平成28年度モデル公民館事業報告会)

平成28年12月9日
岡山県公民館連合会

1. 目的

- (1) 地域の拠点である公民館が培ってきた「地域のつながりづくり」のノウハウを、先進的な取組を実施している公民館（以下「モデル公民館」という。）の具体的な活動を通じて実証することにより、公民館の重要性について世論喚起することを目的とする。
- (2) 岡山県公民館連合会は、県内公民館等から本事業の企画提案を公募し、その企画プレゼンテーションを直接聴取する方法で審査を行い、モデル公民館を選定する。

2. 日時・場所

- (1) 日時 平成29年1月26日（木）13：00～15：30
 - ・開会行事 13：00～13：05
 - ・平成28年度モデル公民館 事業報告 13：05～14：00
 - ・平成29年度モデル公民館 プレゼンテーション 14：00～15：30
 - ・審査会（非公開） 15：30～
- (2) 場所 岡山県生涯学習センター 情報・創作棟2階 大研修室

3. 大会の公開

本大会は、県内の公民館等が「地域のつながりづくり」を目指してどのような取組を進めようとしているのか、その熱意や意欲、公民館活動の今後の方向性などを周知することも重要な目的として位置付けているため、県内の公民館関係者や生涯学習・社会教育関係者等にも参加を呼びかけるとともに、報道機関、一般傍聴者にも参加いただけるよう大会を公開する。

ただし、プレゼンテーション終了後の審査会については、非公開とする。

4. モデル公民館の選定方法

- (1) モデル公民館選定委員会（座長：門野 八洲雄 岡山県公民館連合会長）が、モデル公民館を審査・選定する。
- (2) 平成29年度モデル公民館として選定する件数は3箇所とする。
- (3) モデル公民館選定委員会は、次の観点から審査を行い、事業目的を効果的に達成しうる企画提案を選定する。

①テーマ設定の背景と考え方

テーマ選択の理由。背景等は実情に立脚し、地域課題をふまえたものとなっているか。

②「地域のつながりづくり」を実証する説得力

「地域のつながりづくり」のプロセスを実証する上で、県民に対して説得力を持った内容になっているか。

③実践活動による効果

事業計画の具体的内容は、課題解決を図る上で効果を発揮するものとなっているか。

④地域住民を巻き込む仕掛け

多くの住民を巻き込んでいくための有効な仕掛けが講じられているか。

⑤県民の注目度

「地域のつながりづくり」の重要性について世論を喚起する上で、県民の注目を集めるアピール性をもっているか。

⑥共感性

提案内容が参加者等の共感を得られたかどうか。

5. モデル公民館選定委員会の構成（敬称略、順不同）

石原 達也	NPO法人岡山NPOセンター 副代表理事・事業統括長 （岡山県公民館連合会 平成26年度研修「岡山プレゼン塾」講師）
熊谷慎之輔	岡山大学大学院教育学研究科 教授
中田 照子	岡山県生涯学習大学受講生、公民館利用者 （岡山県生涯学習センター運営協議会 委員）
中本 正行	岡山県教育庁生涯学習課 課長 （岡山県公民館連合会 副会長）
西井 麻美	ノートルダム清心女子大学大学院人間生活学部 教授
藤岡 慎吾	山陽新聞社論説委員会 委員
門野八洲雄	公益社団法人 日本教育公務員弘済会岡山支部 支部長 【選定委員会 座長】 （岡山県公民館連合会 会長）

6. 選定結果の通知

大会終了後（概ね5日後）に提案者に結果を通知するとともに、岡山県公民館連合会ホームページによって公表する。

7. プレゼンテーションの順番 ※持ち時間：各提案者10分間

(1) 大原公民館（美作市）

【プレゼンテーション】〔10分間〕 【質疑応答】〔5分程度〕

(2) 水島公民館（倉敷市）

【プレゼンテーション】〔10分間〕 【質疑応答】〔5分程度〕

(3) 藤田公民館（岡山市）

【プレゼンテーション】〔10分間〕 【質疑応答】〔5分程度〕